

# 【資料 1 - 2】 オープンデータガイドラインの 改定について（実践編）

---

デジタル化推進本部事務局  
(経営戦略部 情報戦略課)

- 全庁での主な作業イメージ
- 優先的にオープンデータ化する分野別推奨データ項目
- より良いデータ形式とライセンス
- データ内容に関する作業

## 全庁での主な作業イメージ

**① 既存オープンデータを使いやすくする**

→既にオープンデータカタログに掲載されているデータを、オープンデータとして更に利用しやすい形式（＝オープンデータ形式…機械判読可能、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス設定）に変更。

**② オープンデータを増やす**

→市役所HPに掲載されているが、オープンデータカタログに掲載されていないデータを、オープンデータ形式に変更の上でオープンデータカタログに掲載。

**③ 未掲載データをオープンデータ化する**

→市役所HPに掲載されていないデータを、オープンデータ形式に変更の上でオープンデータカタログに掲載する。

## ●作業において特に重要なこと

### ●【作成するデータについて】

- 「どんなデータをオープンデータにするか？」は原則各課の保有する個人情報を除いた全てのデータが対象。
- 最低限、「地方公共団体オープンデータ推進ガイドライン 分野別推奨データ項目」に掲載のある項目はオープンデータ化する。そこをスタートに更なる拡張を目指していく。
- 「オープンデータのための5つ星スキーム」にのっとり、データは原則CSV形式で掲載する（作成作業自体はExcelで行った上で、保存時にファイルの種類をCSVにして保存する）。

### ●【作成の作業方法について】

- この機に課内での保存データを「オープンデータ化」しやすいものに変更する。
- 1セルに1要素を入力する、セルの結合をしない等、総務省「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法」を参考にする。

### ●【公開の方法について】

- 各課担当ページだけでなく、豊田市ホームページのオープンデータカタログページに掲載する。
- 公開したデータが更新されずに古いデータのまま公開されていると、二次利用されたアプリやサービスにより古い情報が提供されてしまうため、適宜公開データを更新し、最新の状態にしておく必要がある。データ更新は迅速に行う。

**優先的にオープンデータ化する  
分野別推奨データ項目**

番号		データ名	豊田市
1	基本編	<b>AED設置箇所一覧</b>	○
2		介護サービス事業所一覧	△
3		医療機関一覧	×
4		文化財一覧	△
5		観光施設一覧	×
6		イベント一覧	△
7		<b>公衆無線LANアクセスポイント一覧</b>	○
8		公衆トイレ一覧	×
9		消防水利施設一覧	×
10		指定緊急避難場所一覧	△
11		<b>地域・年齢別人口</b>	○
12		公共施設一覧	△
13		<b>子育て施設一覧</b>	○
14		オープンデータ一覧	△
A-1	応用編	食品等営業許可・届出一覧	×
A-2		学校給食献立情報	△
A-3		小中学校通学区域情報	△

○・・・オープンデータとして所定の形式で市HPに掲載済み

△・・・所定の形式ではないものの、市HPに掲載済み

例：チラシ等の体裁のPDFで掲載

×・・・市HPに掲載なし、集約なし

以下の項目を優先的にオープンデータ化する。

分野名	掲載項目名
社会保障・衛生	AED設置箇所一覧
	介護サービス事業所一覧
	公衆トイレ一覧
	医療機関一覧
	医療・福祉施設情報
	子育て支援施設
	高齢者福祉施設
教育・文化・スポーツ・生活	障がい者福祉施設
	文化財一覧
	子育て施設一覧
	教育機関

分野名	掲載項目名
運輸・観光	観光施設一覧
	イベント一覧
	観光地
	ルートマップ・地図情報
	時刻表情報
	バス停情報
	標準的なバス情報フォーマット (GTFS)
情報通信・科学技術	公衆無線LANアクセスポイント一覧
司法・安全・環境	消防水利施設一覧
	指定緊急避難場所一覧
	応急給水拠点
	浸水エリア
	消防署

以下の項目を優先的にオープンデータ化する。

分野名	掲載項目名
人口・世帯	地域・年齢別人口
行財政	公共施設一覧
	警察署・交番
	調達情報
	支援制度情報
商業・サービス業	食品等営業許可・届出一覧
	学校給食献立情報
	小中学校通学区域情報
国土・気象	ボーリング柱状図等
	都市計画基礎調査情報
その他	オープンデータ一覧
	画像オープンデータ
	分類できないもの

- ◆ P7.8に掲載している項目については、最低限整備するオープンデータとする。
- ◆ 今後、本ガイドライン(実践編)に基づいて、各課においてオープンデータ化を進めていただく。

- 国等から共通データ項目が提示されているデータについては、可能な限り提示されたデータ項目と同様の内容で整備することとします。
- 共通データ項目が提示されていないデータについては、文字列としての住所表記に加え住所コードや緯度・経度をデータ項目として付加するなど、可能な限り二次利用者が活用しやすいよう、データ項目を考慮してデータを作成することとします。

※どのような項目が必要かは  
国資料を情報DB掲載予定

### 推奨データセット

官民データ法を推進するためにデータ項目を絞ったセット

都道府県コード又は市区町村コード	13101
NO	(ユニークIDを附番)
都道府県名	東京都
市区町村名	千代田区
名称	国立国会図書館
名称 カナ	コクリツコッカイトショカン
名称 通称	国会図書館
公共施設小分類コード	(施設コードは策定中(年内を予定))
住所	東京都千代田区永田町1-10-1
方書	
緯度	35.6784151
経度	139.7398418
電話番号	03 3581 2331
法人番号	1000011000005
団体名	国立国会図書館
利用可能曜日	
開始時間	9:30
終了時間	19:00
利用可能日時特記事項	土曜日は17:00 休館日:日曜日、国民の祝日・休日、年末年始、第3水曜日
説明	図書館資料の閲覧、貸出し、複写などの図書館サービス
バリアフリー情報	
URL	<a href="http://www.ndl.go.jp/index.html">http://www.ndl.go.jp/index.html</a>
備考	18歳以上の方であればどなたでも利用できます。

# より良いデータ形式とライセンス

●「オープンデータのための5つ星スキーム」

- コンピュータが自動処理できないデータ形式で公開されたデータをアプリやサービスに活用しようとすると、一旦人間がデータを判読して、手動で加工する手間がかかってしまうため、機械判読できないデータ形式であることがアプリやサービスによるデータ活用の障害になってしまいます。これでは、民間企業等と連携は進まない
- 機械判読のしやすさと二次利用のしやすさを5段階で示したのが、以下に示す「オープンデータのための5つ星スキーム」です。星の数が多いほど、オープンデータとして活用がしやすくなります。

星の数	データ種類
★	コンピュータで判読や編集が不可能なデータ形式 (PDF等)
★★	コンピュータで判読や編集が可能だが、特定のアプリケーションに依存するデータ形式 (XLSX等)
★★★	特定のアプリケーションに依存せず、オープンに利用できるデータ形式 (CSV等)
★★★★	Web標準のデータ形式 (RDF等)
★★★★★	外部連携可能なデータ形式 (LOD等)

→オープンデータとしてデータを公開する際は、データを活用するアプリやサービスがデータを読み込みやすく、活用しやすくなるよう、可能な限りオープンなデータ形式で公開することが望まれます。当面はオープンに利用できるフォーマット (★★★) として、CSV形式を基本としてデータを公開します。

## ●クリエイティブ・コモンズ・ライセンス

- クリエイティブ・コモンズ・ライセンスとは、インターネット時代のための新しい著作権ルールで、作品を公開する作者が「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツールです。
- クリエイティブ・コモンズ・ライセンスを利用することで、作者は著作権を保持したまま作品を自由に流通させることができ、受け手はライセンス条件の範囲内で再配布やリミックスなどを行うことができます。
- 以下の4種類の条件を組み合わせ、作品（著作物）に対して適切なライセンス（利用条件）を提示することができます。

アイコン	タイトル	意味
	表示 (BY)	作品のクレジットを表示すること
	非営利 (NC)	営利目的での利用をしないこと
	改変禁止 (ND)	基の作品を改変しないこと
	継承 (SA)	基の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開すること

- オープンデータでは、商用を含めた二次利用や加工を前提としてデータを公開しますので、特別な場合を除き、「表示 (BY)」のみを条件としたライセンスで公開することになります。

## ライセンス表示方法



当ページのコンテンツは、特に注があるものを除き、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示4.0国際の下で提供

## 表示が意味する利用ルール

著作権者の表示（出典の記載）を条件に、データ利用者の改変・営利目的での二次利用を許可

# データ内容に関する作業

○ 標題など表形式に含まれない行列の削除

- CSVデータをコンピュータが自動で処理するためには、CSVデータの列（項目）と行（項目毎の値）が明確になった表の構造になっている必要があります。
- 表の上に記載された標題や、表の枠外に記載されたコメント・注釈・単位表記などは、行ごと、列ごと削除してしまい、項目名称を先頭行・先頭列に持った表だけが残る形にします

	A	B	C	D	E	F	G	H	
1				○○○○一覧					
2				平成28年4月1日現在					
3		分野	名称	必要作業		場所	日付		
4				作業1	作業2				
5		分野A	データA1	可能	不可能	西町3-60	平成29年2月1日	※1	
6			データA2	可能		拳母町2-1-1	〃		
7			データA3	可能	不可能	若宮町1-57-1	〃	※1	
8		分野B	データB1	可能		西山町2-19	平成31年3月4日		
9			データB2	可能		元宮町3-60	平成29年4月1日		
10			データB3	可能	不可能	陣中町1-19-1	〃	※2	
11		分野C	データC1	可能	不可能	長興寺5-17-1	平成28年12月1日		
12			データC2	可能	不可能	錦町1-1-1	平成29年12月7日		
13							※1…▲▲▲▲		
14							※2…■ ■ ■ ■		
15									



	A	B	C	D	E	F	G
1	分野	名称	必要作業		場所	日付	注釈
2			作業1	作業2			
3	分野A	データA1	可能	不可能	西町3-60	平成29年2月1日	※1
4		データA2	可能		拳母町2-1-1	〃	
5		データA3	可能	不可能	若宮町1-57-1	〃	※1
6	分野B	データB1	可能		西山町2-19	平成31年3月4日	
7		データB2	可能		元宮町3-60	平成29年4月1日	
8		データB3	可能	不可能	陣中町1-19-1	〃	※2
9	分野C	データC1	可能	不可能	長興寺5-17-1	平成28年12月1日	
10		データC2	可能	不可能	錦町1-1-1	平成29年12月7日	
11							

# ●データ内容に関する作業 データ項目（列）の整理

## ○データ項目（列）の整理

- セルの結合等を解除し、Excel上でのセルに対して1つずつ内容が入力されている状態にします

	A	B	必要作業		E	F	G
	分野	名称	作業1	作業2	場所	日付	注釈
1	分野	名称	必要作業		場所	日付	注釈
2	分野	名称	作業1	作業2	場所	日付	注釈
3	分野A	データA1	可能	不可能	西町3-60	平成29年2月1日	※1
4		データA2	可能		拳母町2-1-1	〃	
5		データA3	可能	不可能	若宮町1-57-1	〃	※1
6	分野B	データB1	可能		西山町2-19	平成31年3月4日	
7		データB2	可能		元宮町3-60	平成29年4月1日	
8		データB3	可能	不可能	陣中町1-19-1	〃	※2
9	分野C	データC1	可能	不可能	長興寺5-17-1	平成28年12月1日	
10		データC2	可能	不可能	錦町1-1-1	平成29年12月7日	
11							



	A	B	C	D	E	F	G
	分野	名称	必要作業1	必要作業2	場所	日付	注釈
1	分野	名称	必要作業1	必要作業2	場所	日付	注釈
2	分野A	データA1	可能	不可能	西町3-60	平成29年2月1日	※1
3	分野A	データA2	可能	可能	拳母町2-1-1	〃	
4	分野A	データA3	可能	不可能	若宮町1-57-1	〃	※1
5	分野B	データB1	可能	可能	西山町2-19	平成31年3月4日	
6	分野B	データB2	可能	可能	元宮町3-60	平成29年4月1日	
7	分野B	データB3	可能	不可能	陣中町1-19-1	〃	※2
8	分野C	データC1	可能	不可能	長興寺5-17-1	平成28年12月1日	
9	分野C	データC2	可能	不可能	錦町1-1-1	平成29年12月7日	
10							

# ●データ内容に関する作業 略式の解消、余分なスペースの削除

## ○略式の解消

- 『 』や『 ※ 1 』等で省略しているデータ内容を直接記述し、そのセル内で完結するように修正します

	A	B	C	D	E	F	G
1	分野	名称	必要作業1	必要作業2	場所	日付	注釈
2	分野A	データA1	可能	不可能	西町3-60	平成29年2月1日	※1
3	分野A	データA2	可能	可能	拳母町2-1-1	〃	
4	分野A	データA3	可能	不可能	若宮町1-57-1	〃	※1
5	分野B	データB1	可能	可能	西山町2-19	平成31年3月4日	
6	分野B	データB2	可能	可能	元宮町3-60	平成29年4月1日	
7	分野B	データB3	可能	不可能	陣中町1-19-1	〃	※2
8	分野C	データC1	可能	不可能	長興寺5-17-1	平成28年12月1日	
9	分野C	データC2	可能	不可能	錦町1-1-1	平成29年12月7日	



	A	B	C	D	E	F	G
1	分野	名称	必要作業1	必要作業2	場所	日付	注釈
2	分野A	データA1	可能	不可能	西町3-60	平成29年2月1日	▲▲▲▲
3	分野A	データA2	可能	可能	拳母町2-1-1	平成29年2月1日	
4	分野A	データA3	可能	不可能	若宮町1-57-1	平成29年2月1日	▲▲▲▲
5	分野B	データB1	可能	可能	西山町2-19	平成31年3月4日	
6	分野B	データB2	可能	可能	元宮町3-60	平成29年4月1日	
7	分野B	データB3	可能	不可能	陣中町1-19-1	平成29年4月1日	■
8	分野C	データC1	可能	不可能	長興寺5-17-1	平成28年12月1日	
9	分野C	データC2	可能	不可能	錦町1-1-1	平成29年12月7日	

## ○余分なスペースの削除

- 『 拳母 』など、間隔調整のためなどに入力されている余分なスペースを削除します。
- Excel上で、『 拳母 』を『 拳母 』に一括置換したり、『 』(スペース)を『 』(何も入力されていない)に一括置換したりすることで、一度にスペースの削除ができます。

## （４）地理座標（緯度・経度）の追加

- 住所や場所に関する情報が入力されている場合、地図アプリケーション等で利用しやすいよう、該当住所の地理座標（緯度・経度）を世界測地系（WGS84）の10進数表示で追加します。
- 項目名称にも、「世界測地系WGS84 10進数」であることを明記します。
- 住所から緯度・経度を調べる方法は、インターネットパソコンでGoogleマップ（<https://www.google.co.jp/maps>）等で確認します。

	A	B	C	D	E	F	G	
1	分野	名称	必要作業1	必要作業2	場所	緯度(世界測地系WGS84 10進数)	経度(世界測地系WGS84 10進数)	日
2	分野A	データA1	可能	不可能	西町3-60	35.082492	137.156216	
3	分野A	データA2	可能	可能	拳母町2-1-1	35.082245	137.160435	
4	分野A	データA3	可能	不可能	若宮町1-57-1	35.087697	137.155518	
5	分野B	データB1	可能	可能	西山町2-19	35.109117	137.159097	
6	分野B	データB2	可能	可能	元宮町3-60	35.074258	137.166902	
7	分野B	データB3	可能	不可能	陣中町1-19-1	35.094477	137.160259	
8	分野C	データC1	可能	不可能	長興寺5-17-1	35.06848	137.167635	
9	分野C	データC2	可能	不可能	錦町1-1-1	35.07514	137.157918	
10								

## 5 識別子の追加

## (1) 地方公共団体コードの追加

- 豊田市が公開したデータを他の自治体が公開しているデータとあわせて利用することを想定し、当該データが豊田市のデータであることを示すために、各行の先頭列に全国地方公共団体コード（『232114』）を追加します。

## (2) ID等識別子の追加

- 個々のレコード（行）を識別するためのIDやNo等の識別子を追加します。
- 特にデータ固有のID、コード等がなければ、1から連番を振っておきます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	地方公共団体コード	ID	分野	名称	必要作業1	必要作業2	場所	緯度(世界測地系WGS84 10進)
2	232114	1	分野A	データA1	可能	不可能	西町3-60	35.08
3	232114	2	分野A	データA2	可能	可能	拳母町2-1-1	35.08
4	232114	3	分野A	データA3	可能	不可能	若宮町1-57-1	35.08
5	232114	4	分野B	データB1	可能	可能	西山町2-19	35.10
6	232114	5	分野B	データB2	可能	可能	元宮町3-60	35.07
7	232114	6	分野B	データB3	可能	不可能	陣中町1-19-1	35.08
8	232114	7	分野C	データC1	可能	不可能	長興寺5-17-1	35.0
9	232114	8	分野C	データC2	可能	不可能	錦町1-1-1	35.0
10								

総務省「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法」に、全国的に順守すべき表記方法が掲載されているので、併せて確認する。

項目番号	内容
<input type="checkbox"/> チェック項目1-1	ファイル形式はExcelかCSVとなっているか
<input type="checkbox"/> チェック項目1-2	1セル1データとなっているか
<input type="checkbox"/> チェック項目1-3	数値データは数値属性とし、文字列を含まないこと
<input type="checkbox"/> チェック項目1-4	セルの結合をしていないか
<input type="checkbox"/> チェック項目1-5	スペースや改行等で体裁を整えていないか
<input type="checkbox"/> チェック項目1-6	項目名等を省略していないか
<input type="checkbox"/> チェック項目1-7	数式を使用している場合は、数値データに修正しているか
<input type="checkbox"/> チェック項目1-8	オブジェクトを使用していないか
<input type="checkbox"/> チェック項目1-9	データの単位を記載しているか
<input type="checkbox"/> チェック項目1-10	機種依存文字を使用していないか。
<input type="checkbox"/> チェック項目1-11	e-Statの時間軸コードの表記、西暦表記又は和暦に西暦の併記がされているか
<input type="checkbox"/> チェック項目1-12	地域コード又は地域名称が表記されているか
<input type="checkbox"/> チェック項目1-13	数値データの同一列内に特殊記号（秘匿等）が含まれる場合
<input type="checkbox"/> チェック項目2-1	データが分断されていないか
<input type="checkbox"/> チェック項目2-2	1シートに複数の表が掲載されていないか
<input type="checkbox"/> チェック項目2-2	1シートに複数の表が掲載されていないか

※詳細は、資料1 - 3 参照

- 第6回デジタル化推進本部にて議論。議論内容を踏まえて、最終版を第7回デジタル化推進本部会議で共有
- 最終版を踏まえ、各部局・各課への作業依頼を通知予定(詳細については、別途案内)
- 作業にあたり、デジタル化推進員向けに説明会を実施予定。